

かほく市立高松中学校 学校便り

《校訓》「責任を果たせ 自主・協同・奉仕」

さわやか



第 6 号 令和7年10月3日発行

□ 「ゴールの姿をイメージせよ」

校長 塚田 秀和

10月全校集会での話です。9月の始業式では、2学期のテーマを「答えのない授業」と話をしました。「答えのない授業」とは「答えを見つける授業」のことだと話をしました。さらに、「授業」とは言うものの、学校生活全体を通して、自分で、考え、気づき、進んでいくと素敵な2学期になるのではないかと話をしました。25日（木）に開催された初めての屋内での運動会は、みんなが「Bloom with Pride」のスローガンのもと、一人一人が「全力」で競技、応援に臨み、多くの笑顔を見ることができました。



高松中学校の「全力」が見られた運動会

さて、ここからが今月の話です。後期がスタートする10月のテーマを「ゴールの姿をイメージせよ」としました。9月は世界陸上、世界バレーなど多くのスポーツイベントがありました。昨年の夏は、パリでオリンピック・パラリンピックが行われました。集会では、昨年のパリ・オリンピックでの名場面（勝利の瞬間）を集めた映像を視聴しました。メダルを獲得した選手たちの清々しい姿から、誰もが体験したことのある目標を達成したときの「気持ちよさ」を思い起こしてほしかったからです。

私は学校の先生になってから、ずっと卓球部の顧問をしていました。毎年4月に1年生が入部して、新しいチームが始まる時、必ず話をしていたのが、「ゴールの姿をイメージせよ」でした。特に3年生には、ゴール（引退の日）を、どのような場所で、姿で迎えたいのか話を聞き、全員で「ゴールの姿」を共有していました。「ゴールの姿」が決まったら、その日までの時間を「逆算」して必要な練習をするだけです。「ゴールの姿」をイメージすることが重要です。

今月から後期がスタートします。3年生、中学校生活もあと半年です。3月にはどんな姿になって高松中学校を卒業しますか。3年生に限ったことではありませんね。3月には、どんな学級、学年になっていますか。「いますか」には、少し人任せのようなニュアンスが感じられます。なので「いますか」ではなく自分はどのように「しますか」ですね。3月は少し遠い話かもしれませんが、今月31日には合唱コンクールもあります。合唱コンクールのゴールで、自分は、学級は、どのような姿になっていたら嬉しいでしょうか。

9月2学期のスタート、10月は後期のスタート、月曜日は1週間のスタート、切りのいいとき、思い立ったときに、いつでもスタートを切ればよいと思います。

ただ、その時に、大切にしてほしいことは今月のテーマは「ゴールの姿をイメージせよ」です。



先月紹介した「ありす、宇宙（どこ）までも」の中にも「逆算」が描かれています。

□ ホームページで「学校のようにす」をお知らせしています。

ホームページでは、運動会はもちろん、日々の学校生活の写真を多く掲載しています。ぜひ、ご覧ください。

<https://cms1.ishikawa-c.ed.jp/takamj>